

【提出用】

【 6区 】

地区防災計画作成に資する設問

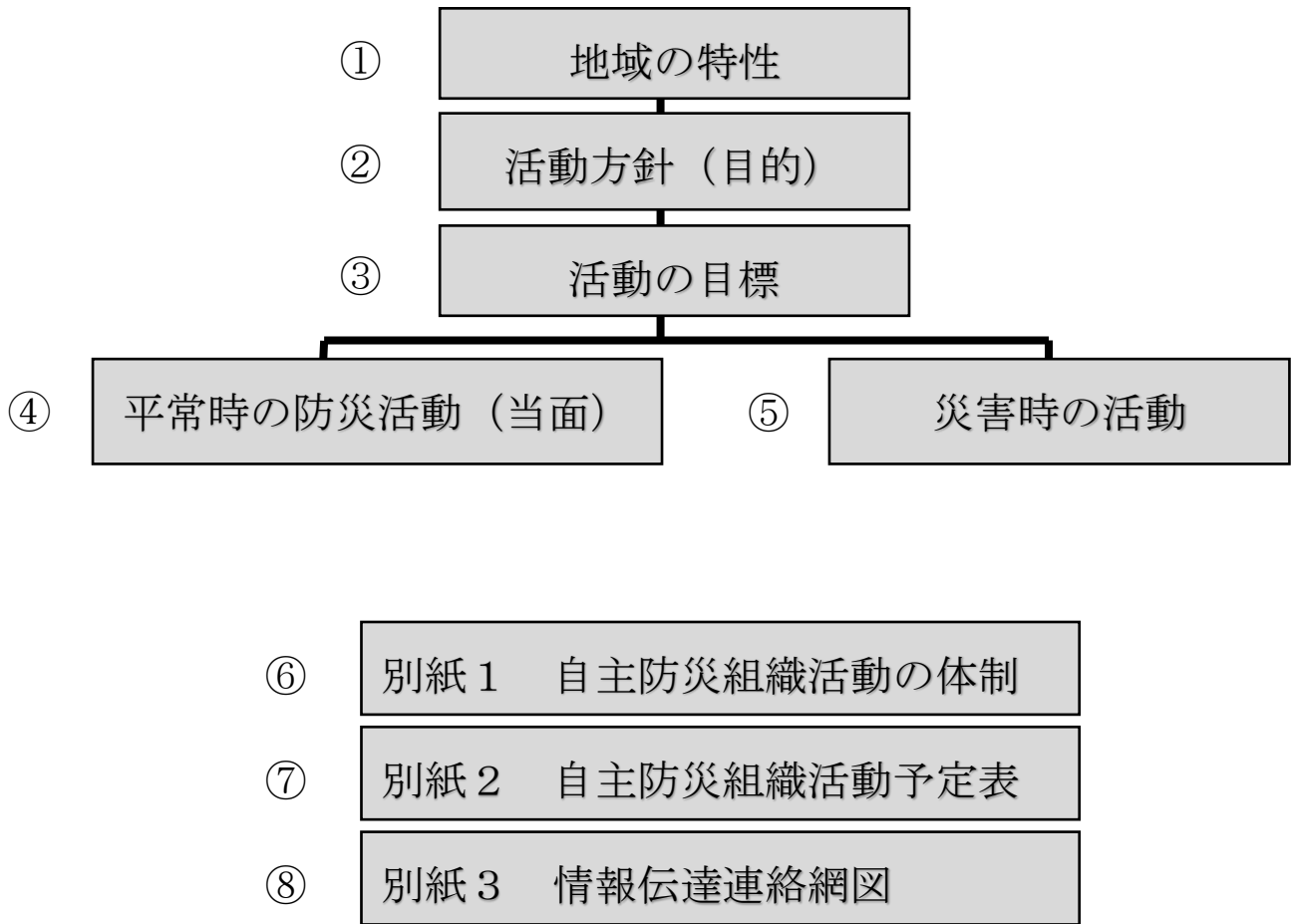
令和5年12月提出

6区自主防災組織

【本誌の目的と意義】

- 1 本誌は皆様の地区の防災計画作成に必要な事柄について設問しています。
- 2 その「設問」を順次回答することにより皆様の地区の防災計画作成に必要な大切な事柄が浮き彫りになるよう構成しています。
- 3 回答にあたっては自主防災組織役員の意見を集約して下さい
- 4 設問に記載してある回答の選択例では自分達の地区の状況を反映していない場合は、ふさわしい表現に変えて【その他】の欄に記載して下さい。
- 5 設問に対する皆様の回答が地区防災計画(案)になります。

6 設問(回答)の順序



7 本誌提出後の予定

地区防災組織	市町村(総務課等)
<u>本誌を提出</u>	本誌を受領 <u>地区防災計画(案)(作成代行)</u>
地区防災計画(案)受領 (※ 本誌の提出の反映状況を確認し、修正事項があれば自治体担当者に所要の修正事項を連絡)	<u>地区防災計画完成(修正代行)</u> (※修正後地区防災組織へ)
地区防災計画を住民に周知	防災会議で審議 (※地区防災計画の提案)

1 地区の特性

【地区の特性とはお住いの地域の地形や立地条件、住宅や町の形状、住民の構成や分布（災害環境）を確認し、これらからどのような災害がどのような規模で起こりうるか（災害リスク）を把握するものです】

(1) 地区の社会的特性

ア **【設問】地区の世帯数** 72世帯

イ **【設問】世帯構成は**

＜該当を選ぶ（複数選択可）＞

- ☒ ① 65歳以上の高齢者は全住民の半数を超え、高齢者率は逐年増加傾向にある
- ☒ ② 65歳以上の高齢者は多くなってきているが当分は半数を超える程ではない。
- ☐ ③ 若い人達の移住が見られそれに伴い若い世帯が増加傾向にある。
- ☒ ④ 若い人達の流出が止まらず、高齢化率の増加に繋がっている。
- ☐ ⑤ その他（上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

ウ **【設問】危険地域に居住する地域住民は**

＜該当を選ぶ＞

- ☒ ① 全世帯の大半は比較的安全な地域に居住しており、危険地域は特定集落に偏っているためその地域を除き防災意識がやや低調。
- ☐ ② 全世帯の多くは山間・河川等が近傍に所在する危険な地域に居住している為、防災意識が高い。
- ☐ ③ 全世帯の多くは山間・河川等が近傍に所在する危険な地域だが、長年被災経験がない（或いは少ない）ために防災意識は低い。
- ☐ ④ その他（上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

エ **【設問】避難行動要支援者の分布は**

＜該当を選ぶ＞

- ☒ ① 偏り（特に 集落）があり、要支援対策は地域的に重点対策をとることにより解決しやすい。
- ☐ ② 平均的に広域に分布している為、要支援者対策に特段工夫が必要
- ☐ ③ その他（上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

オ **【設問】地域のコミュニティの関係は**

＜該当を選ぶ＞

- ☒ ① 地区内の風通しは良く住民同士お互い助け合いの風土が根付いた良い関係にある
- ☐ ② 若い人達と高年齢者との世代乖離が大きくなってきて、昔ほど住民同志が助け合う

コミュニティの良さを感じづらくなってきている。

- ③地区内の風通しはなく、住民同士がお互い助け合う関係がない。
- ④その他(上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい)

カ 【設問】避難場所・施設は

＜該当を選ぶ（複数選択可能）＞

- ①全世帯とも比較的近傍に指定(緊急)避難場所が設定されている
- ②指定(緊急)避難場所が設定されているが、一部(_____集落)は避難場所が不便で考慮を要する。
- ③収容施設は十分で長期間の人員の避難は可能
- ④収容施設は狭いが短期間の避難は可能
- ⑤その他(上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい)

キ 【設問】災害対応団体は

＜該当を選ぶ＞

- ①消防団に限られ事業所の消防やボランティアは期待できない。
- ②消防団の他に一部事業所(_____事業所)やボランティアの活動も期待できる。
- ③その他(上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい)

(2) 地区の災害特性

ア 【設問】土砂災害特性

＜該当を選ぶ＞

- ①地区内には山間地や急傾斜地が~~多く~~広く点在し住宅地はその近傍にある。
- ②地区内には急傾斜地が在るがそのエリアは限定(特に_____集落周辺)した箇所が多くがそれ以外の地区に住宅地がある。
- ③ その他(上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい)

イ 【設問】河川災害特性は

＜該当を選ぶ＞

- ① 地区内には河川が流れており、浸水想定区域は広範にわたるが一部の地域は特に注意を要する。(_____集落周辺)
- ② 地区内には河川が流れているが浸水想定区域は限定した地域にある。
(_____集落周辺)
- ③ 地内には内水氾濫を想定する箇所が(多数 又 一部)点在する。
- ④ 地区内は河川や内水氾濫による危険が少ない。
- ⑤ その他(上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい)

ウ 【設問】地区内の交通路は

＜該当を選ぶ＞

- ① 地区内の交通路は整備され災害時でも近傍の避難所への通行は確保できる。
- ② 地区内の交通路は浸水や土砂災害の発生が懸念され近傍の避難所への通行が困難になる恐れがある。
- ③ その他（上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

エ 【設問】地区内の構造物は

＜該当を選ぶ＞

- ① 居住地区内建物は木造が多く、密集しており火災や地震災害には多数の被害が想定される
- ② 居住地区内の建物は多くが木造やコンクリート構造物であるが広域に分散しているため火災発生や地震災害で倒壊しても延焼拡大の可能性は低く対応策がとりやすい。
- ③ その他（上記が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

オ 【設問】液状化の危険地域は

＜該当を選ぶ＞

- ① 地区内には液状化が想定される箇所が点在し、地震対応策が必要
- ② 地区内には液状化が想定される地域は少ないが一部(_____ 付近)には想定箇所があり地震対応策が必要
- ③ 地区内には液状化が想定される地域はない。
- ④ その他（上記回答が実態を表してない場合は実態に合う内容に記述して下さい）

2 【設問】活動方針

【活動方針は自主防災組織活動の目指す理念です。10～20年後の皆さんの自主防災組織活動の理想の姿を明文化してみましょう！】

＜該当を選ぶ＞

- ① 積極的な自主防災活動を通して行政に頼らない災害に強いまちづくりをする。
【狙い】 自主防災組織が行政に頼らない地域防災力の基幹となることを目指す。
- ② 積極的な自主防災活動を通して強い地域コミュニティの絆を構築する
【狙い】 地域住民の団結力強化を図り、絆が防災力の基幹となることを目指す。
- ③ 自主防災活動を通して自主防災組織力を強化する
【狙い】 自主防災組織を育成し、行政を補完する地区組織力になることを目指す。
- ④ その他（上記では理念を反映していない場合は適切な表現で記述して下さい）

3 【設問】活動目標

【活動目標は自主防災活動の具体的成果であり、2～3年後に達成する事柄を表現するものです。】

＜該当を選ぶ＞

- ① 住民の防災意識を高め、速やかに災害情報を伝達し、発災後も情報発信を継続し、避難所に確実に誘導して命を守る活動を行う。
【狙い】当面の活動目標が①住民防災意識の啓発活動②情報伝達活動③避難誘導活動を主軸とした活動を行うもの
- ② 住民に自主防災組織を周知させ、良好な関係を構築して住民との関係を構築して、災害情報伝達と安否確認訓練を徹底し命を守る活動の意識を高める活動を行う。
【狙い】当面の活動目標が①自主防災組織の周知活動と②情報伝達訓練と安否確認訓練を主軸とした活動を行うもの。
- ③ その他（上記では思い描く目標を反映していない場合は適切な表現に記述して下さい）

4 防災活動

【防災活動は具体的に必ず活動するもので、やりたいな～！とか、やれるかな？といった願望や期待で選択するものではありません。
現在の自主防災組織の構成人員や住民の理解・協力度合いを考え、当面（今年と来年位）にわたって活動する課目を厳選して下さい。
大切なことは身の丈にあった欲張らない活動目標を選定することです】

(1) 【設問】当面の活動（令和5年及び6年に行う課目と捉えると良いでしょう）

ア 平常時の活動

＜記入要領＞

選 択 欄	訓練項目	具体的活動	R5			R6
			4 ～ 6	7 ～ 9	10 ～ 12	1 ～ 3
○	【記入例】 ①住民の防災意識啓発活動	＜対象＞（該当に ○） ①自主防会員・消防団等 ②地区住民 ③その他 ＜実施要領＞（該当に ○） ①講師招聘による講話 ②防災センター等研修 ③その他 ＜事柄＞（該当に ○） ①自助（又は共助）の取組み ②自助と共助の取組み ③その他	○		○	
1 選択欄 必ず訓練する課目です。R5・6年に行う場合○印を記入して下さい。 2 具体的活動 (1) 具体的活動の概要を定める項目を記載しています。 (2) ①対象者②実施要領③事柄について選択して○印を記入して下さい。 3 実施月 実施予定月を右欄に記入してください。 努めて、町内行事に連携して実施できるよう留意して下さい。						

選 択 欄	訓練課目	具体的活動	R5			R6
			4 ～ 6	7 ～ 9	10 ～ 12	1 ～ 3
○	① 住民の防災意識啓発活動	<対象> (該当に ○) ①自主防会員・消防団等 ②地区住民 ③その他 <実施要領> ①講師招聘による講話 ②防災センター等研修 ③その他 <事柄> ①自助(又は共助)の取組み ②自助と共助の取組み ③その他			○	
	② くまもとマイタイムライン作成	<実習対象> (該当に ○) ①全住民 ②希望する住民 ④その他 <実施要領> (該当に ○) ①講師による作成指導 ②自主防組会が作成指導 ③その他		○		
	③ 情報伝達訓練と安否確認訓練	<対象> 情報伝達網図に記載の住民 <実施要領> (該当に ○) ①正確な情報伝達 ②正確・迅速な情報伝達 ③「無事です」掲示板の取組み			○	

選 択 欄	訓練課目	具体的活動	R5			R6
			4 ～ 6	7 ～ 9	10 ～ 12	1 ～ 3
	④ 避難訓練	<対象> (該当に ○) ①全住民 ②限定した集落等の住民 ③避難行動要支援者 ④その他 <実施時期> (該当に ○) ①昼間 ②夜間或いは薄明・薄暮時期			○	
	⑤救出・救護訓練 (要避難者含む)	<対象> (該当に ○) ①全住民 ②自主防災会の救出・救護班 ③その他 <実施要領> (該当に ○) ①救急救命法 ②AED 操作			○	
	⑥初期消火訓練	<対象> (該当に ○) ①自主防災会員 ②自主防災会の消火班 ③その他 <実施要領> (該当に ○) ①水消火器による消火 ②消火ポンプによる放水消火 ③その他				○

選 択 欄	訓練項目	具体的活動	R5			R6
			4 ～ 6	7 ～ 9	10 ～ 12	1 ～ 3
	⑦ 防災マップ 作製・整備	<対象> (該当に ○) ①自主防災役員・会員 ②希望する住民 ③その他 <作成範囲> (該当に ○) ①地区内全地域を対象 ②地区内の一地区を限定 ③その他				
	⑧ 避難所開設 訓練	<対象者> (該当に ○) ①自主防災組織会員 ②自主防組織役員 ③その他 <実施内容> (該当に ○) ①基本的避難所施設 レイアウト設定(パーティショ ン、段ボールベッド、簡易トイ レ等) ②コロナ感染症対策を主体とす る施設開設 (隔離部屋・検査部屋等) ③要支援者又はペット連れ避難 者等対策を狙いとした施設開 設 ④その他				

選 択 連	訓練項目	具体的活動				
			4 ～ 6	7 ～ 9	10 ～ 12	1 ～ 3
	⑨ 避難所運営 訓練	<対象者> (該当に ○) ①自主防災組織会員のみ ②自主防災会役員 ③その他 <実施内容> (該当に ○) ①業務確認と避難所受付・避難 者名簿の作成・管理業務要領 ②けが人・要配慮者への対応 (介護) 業務・秩序維持要領 ③避難物資の受入れ・管理業務 要領 ③その他見)				
	⑩ 防災資機材 整備	<実施内容> (該当に ○) ①資機材の保守・整備 ②資機材調達 ③資機材整備技術者養成訓練 ⑤資機材保管場所の設置 ⑥その他		○		
	⑪ 避難路 危険個所整備	<実施要領> (該当に ○) ①特定地区(○○集落周辺)近 傍の避難路・危険個所の整備 ②全地域で避難路・危険個所の 一斉点検				
イ 災害時の活動						
	①情報伝達活動	<実施事項> (該当に ○) ①気象情報の収集・伝達 ②被害情報の収集・伝達 ③自治体への報告 ④その他				
	②安否確認活動	<実施事項> (該当に ○) ①避難住民の避難場所の把握 ②所在不明者の把握				

		③要支援者の状況把握 ④その他
	③避難誘導活動	<実施事項> (該当に ○) ①避難行動要支援者の避難誘導 ②住民の避難誘導 ③その他
	④救出・救護活動	<実施事項> (該当に ○) ①けが人救出・救助活動 ②要介護者けが人救出・救助
	⑤ 避難所 開設・運営	<実施事項> (該当に ○) ①避難所施設の開錠 ②避難所レイアウト設定 ③避難所受付・名簿作成 ④その他

5 避難所及び保有資機材リスト

【避難所及び保有資機材リストは地区住民が活用出来るよう、周知の為に記載しておくものです。

「周知すべき施設等は正確に掲載」しておくといった姿勢が良いでしょう】

(1) 【設問】避難所

種別	施設名	住所	開設責任者	電話番号
一時避難所				
指定避難所				
地区で指定した避難所				

(2) 【設問】保有防災機資材リスト

物品	数量	保管場所	備考
【記述例】 ヘルメット	25	公民館	使用中 2

6 自主防組織タイムライン

【想定するタイムラインを掲載しました。

この中で、これまでの皆様の自主防災組織活動の経験を踏まえ、実態にあった実行可能な行動になるよう修正・加除して下さい】

※ 下記表に修正の有無 修正不要 修正必要 (いずれか選択)

(1) 台風・豪雨災害時

	気象情報	自主防災組織	住民	市町村
1	早期注意情報	気象情報の収集		
2	・大雨注意情報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報	・役員への連絡 ・住民に注意喚起 ・地区の状況確認	非常用持ち出し品を確認	・防災行政無線で住民へ注意喚起の放送 ・水防待機開始
3	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	・対策本部設置 ・被害・避難状況全体把握 ・高齢者等の避難支援開始	高齢者等避難開始	・高齢者等避難発令 ・避難所開設 ・消防団出動要請
4	土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報	一般住民に避難呼びかけ ・避難誘導開始	一般住民の避難開始	・災害対策本部の設置 ・避難指示発令
5	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	最善の避難行動をとる		・避難発生情報

(2) 地震版(※ 震度6以上を想定)

		自主防災組織	住民	役場
初動対応	発災直後	・身の回りの安全確保 ・報収集開始	・身の回りの安全確保 ・火元確認、出火防止	災害対策本部設置
	1時間迄	災害対策本部設置 安否確認・被害情報収集 地区の見回り開始 要支援者支援	避難所(一時避難所)へ避難	防災無線で住民へ注意喚起 被害情報調査
応急対応	6時間迄	避難所開設準備 資機材の搬入・設置		避難所開設
	1日迄	避難者の体調管理		支援物資配送
	3日迄	ボランティアと連携開始 在宅避難者の把握と支援		ボランティアセンター開設 応急危険度判定

【設問】 自主防災組織活動の体制

【自主防災組織活動の体制は先に選択した当面の活動課目及び災害時の活動を円滑に行う為に必要な活動編成表です。
活動を行う班を編成し担当者と役割を明確にしておくことが大切です！】

【記述例】



自主防災組織活動の体制

会長	
副会長	

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

班	
長	
役割	①
	②
	③
	④

自主防災組織活動の体制

既に組織活動編成表が作成されており、
それを活用する場合は その編成表を
この紙面にのり付け（ホッチキス可）

令和5年 地区防災活動予定表

		地区主要行事	地区防災活動
4月	上旬	区総会	
	中旬		
	下旬		
5月	上旬		
	中旬		
	下旬		
6月	上旬	美化作業	
	中旬	廃品回収	
	下旬		
7月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
8月	上旬	美化作業、天神祭り、見回会	
	中旬		
	下旬		
9月	上旬	見回会、敬老会	
	中旬		
	下旬		
10月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
11月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
12月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
2月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		
3月	上旬	見回会	
	中旬		
	下旬		

【別紙第2 参考】

令和5年 地区防災活動予定表(記述例)

		地区主要行事	自主防災組織活動
4月	上旬	交通安全週間(春)	
	中旬	町内会総会	地区防災計画周知、マイタイムライン作成講習、防災講話
	下旬		
5月	上旬		
	中旬	廃品回収	情報伝達訓練
	下旬		
6月	上旬		
	中旬		
	下旬		
7月	上旬		
	中旬	交通安全週間、防犯パトロール	地区内安全点検(避難路点検)
	下旬		
8月	上旬		
	中旬	盆踊り	
	下旬		
9月	上旬	防災の日、総合防災訓練	総合防災訓練(マイタイムラインを活用した避難訓練)
	中旬		
	下旬		
10月	上旬		
	中旬	町内会運動会	
	下旬		
11月	上旬	火災予防週間	
	中旬	交通安全週間、防犯パトロール	マイタイムライン講習会
	下旬	廃品回収	
12月	上旬		
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	どんと焼き	
	中旬		
	下旬	役員会	地区防災計画修正検討
2月	上旬	火災予防週間	
	中旬		
	下旬		
3月	上旬		
	中旬		
	下旬		

【設問】 令和5年 情報伝達連絡網図

令和5年の情報伝達連絡網図を作成して下さい

この連絡網図は地区の住民全員に必要な情報を確実に伝達するものです。

電話が不通になることを想定して対面での伝達を重視しましょう。

連絡網作成の参考

- 1 全世帯が編成の対象
- 2 一人が複数の世帯に連絡を担当
- 3 集落の規模でパターンを組み合わせる。
- 4 連絡相手先に連絡がつかない場合には次の連絡先に連絡することを明記

手書きで構いません！

会 長	
情報伝達班長	

令和5年 情報伝達連絡網図

既に情報伝達連絡網図が作成されており、
それを活用する場合は その連絡網を
この紙面にのり付け（ホッチキス可）